



高知県立幡多けんみん病院

広報誌

はた家

はたの家族の健康をはぐくむ《はたけ》でありたい

vol.1 2016.4

特集

地域がん診療連携



地域がん診療連携拠点病院



地域がん診療連携拠点病院とは

地域がん診療連携拠点病院とは、厚生労働省主導により、がん治療の地域格差をなくし、地域住民が質の高いがん診療を受けられることを目的として指定されたがんの拠点病院です。

当院は平成24年4月1日、高知県中央圏以外では初めて地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、専門的ながん医療の提供、緩和ケアの充実、がん患者・家族等に対する相談支援、在宅医療の支援、がんに関する各種情報の収集・提供等の取り組みを行い、地域におけるがん医療の充実に努めてまいりました。

そして、平成27年4月1日には、厳しい指定要件の下、幸いにも指定更新を受けられることができました。



今後、人間的に厳しい部分はありませんが、地域の皆様が安心してがんの医療を受けられるようさらに努力を重ねていきたいと思っています。

当院のがん診療への取り組み

専門的知識や技能を有する各診療科医師の協力の下、手術・放射線治療、化学療法を組み合わせた集学的治療及び緩和ケアを提供するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療を行っています。

そして、高度化・多様化するがん診療に対応するために、手術・検査機器や放射線治療装置の速やかな更新を行うとともに、緩和ケア支援室、外来治療室、がん疾患の多い病棟やWOC相談室に専門的知識を有する認定看護師を配置、相談支援センターや院内がん登録に対しても専門の人員を配置、さらに、薬剤科、リハビリ科、栄養科、退院調整部門など多職種との連携を密にとりながら、がん診療を行っています。

主な取り組みをご紹介します。

“けんみん”の
取り組みを
ご紹介します！



01

キャンサーボード

当院では平成23年5月より、個々のがん患者さんの診断や治療方針について、がん医療に携わる専門職が職種を超えて集まり、診療科をまたいで横断的に行う検討会すなわち、キャンサーボードを月に一度実施しています。

キャンサーボードを開催することによって、医療の質の向上、また、情報を共有することで、各部署間の連携も深まり、医療安全の観点からも非常に重要であると考えています。

03

緩和ケア勉強会・緩和ケアカンファレンス

平成17年より、緩和ケアに関する知識や技術の更なる向上と地域の方々との顔の見える連携を目的とした緩和ケア勉強会を継続してきました。

そして、平成27年6月より、地域の医療機関・介護施設、行政などの多職種の方々と定期的に緩和ケアカンファレンスを行っています。

療養場所がどこにあっても、患者さん・ご家族の身体と心の症状やつらさが和らぎ生活できるような検討会を開催しています。

02

がんの勉強会

平成22年7月より、がんの診断、手術療法、化学療法、放射線治療、緩和ケア、免疫療法、がん看護、リハビリ、栄養等について、院内外から講師を招いて、年に10回勉強会を開催しています。がんはその疾病経過に沿って地域の様々な医療機関、訪問看護ステーション、回復期リハ、介護施設などとの連携を必要とする典型的な疾患とも考えられ、幡多地域のがんの医療連携を進めるためにも、院外の医療機関のみならず、一般の方にも参加を呼び掛けて行っています。

会場は幡多けんみん病院3階 大会議室で行っています。今後の予定は当院ホームページをご覧ください。



04

がん相談支援センター

当院では、地域の皆さんのがんについての相談をお受けするため、がん相談支援センターを開設しています。がんに関するどのような相談にも対応できるよう専任相談員を配置し、がんについての疑問やご心配なことについての相談をお受けしています。

がん相談支援センターは2階外来治療室のあるEブロック内にあり、対象者はがんに関することであれば、どなたでも相談できます。また、電話による相談もお受けしています。

そして、がんに関する各種情報の提供にも力を入れており、がん情報サービスの各種がん冊子を病院西玄関に配置している他、新たにごんの図書室(名称「風の音」)を外来治療室手前の部屋に設置し、最新の情報が得られるようにがん関連の新しい書籍を約300冊揃えています。是非一度お立ち寄り下さい。



05

セカンドオピニオン外来

平成24年4月1日よりセカンドオピニオン外来を設置いたしました。現在のところ、対象疾患は悪性腫瘍で、肺、消化器系、乳腺、脳、皮膚、尿路・性器系、頭頸部です。

近年、主治医による診断や治療のほか、他の医師の意見も聞き、納得して治療を受けたいと考える患者さんが増えています。セカンドオピニオンを選択することで主治医の方針に納得できれば現状の治療に安心して取り組めますし、また、別のより良いと思われる治療を選択するチャンスも得られます。

私たちも患者さんに積極的にセカンドオピニオンを勧めるようにしています。希望される方は、当院がん相談支援センターまでご連絡下さい。

06

がんの学び舎

平成26年4月より、がんの啓蒙を目的にがんの学び舎を始めました。これは一般住民の方々にがんの予防や治療の知識など正しい情報を知っていただくために、地域に向向いてミニ講演会を行うもので、2か月に1度、現在まで12回開催しました。

地域に出向きますと、近所の皆さんが連れ立って参加してくれ、和やかな雰囲気の中、質問もきりがなく続くこともしばしばで、我々も普段ではなかなか味わえない充足感を感じさせてもらっています。

今後の予定など詳しくは当院ホームページや院内の掲示板をご覧ください。



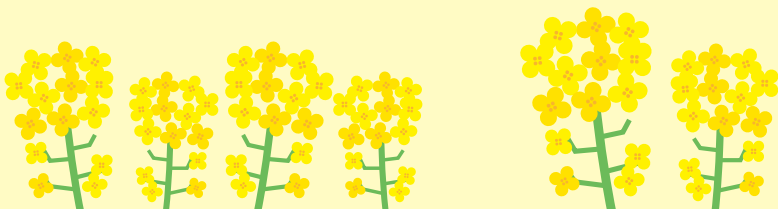
07

がんの訪問授業

平成26年度より、幡多地域の中学校3年生を対象に、がんに関する基本的な知識(がんの実態を知る、予防策を知る、検診の大切さを知る)やがんとの向き合い方を学んでもらうために、がんの訪問授業を始めました。

これまでに、四万十市市立下田中学校と中筋中学校、宿毛市立東中学校の三校で授業を行いました。多くは興味津々に聴いてもらいましたが、時には居眠りをする生徒さんも見受けられ、ハラハラすることもありました。ただ、授業後の質問やアンケートには皆さんしっかりと受け答えをしてくれました。

また、学校によっては、当日使用した資料はファイルとして学校にお渡しし、これを先生方が保護者へのお便りや校舎内の掲示物としてうまく活用してもらえたようです。



幡多ふれあい医療公開講座

平成23年4月より、幡多各市町村、幡多福祉保健所、幡多医師会などの後援を得て、幡多地域住民を対象にした幡多ふれあい医療公開講座を始めました。講師の先生方にはボランティアで講演をお願いしておりますが、皆さん快く引き受けてくださり、講演内容とともに、幡多に居住する医療者を住民の方に知っていただく貴重な場となっております。

本年度で6年目に入り、各市町村、幡多福祉保健所との連携も比較的スムーズとなり、会場整備や広報活動も手分けして頑張ってきてもらっています。

年に6回(四万十市2回、宿毛市2回、土佐清水市1回、黒潮町1回)、各市町村を回りながら開催しています。

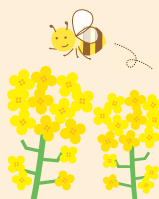


がん治療における 医科歯科連携

口腔内の健康を保つことはがんの治療を継続していく上で、非常に重要なことだと知られています。

平成26年4月より、当院パス委員会の協力を得て、幡多地域の歯科医師の先生方と医科歯科連携バスを作成し、化学療法や放射線治療を開始するがん患者さんを対象に口腔ケアに関する医科歯科連携を始めました。

27年度は109名のがん患者さんに医科歯科連携を行うことができました。



幡多がん患者会 “よつばの会”

がん患者さんやその家族がお互いに親睦を深め、医療者との意見交換を行う場として、幡多がん患者会「よつばの会」(畑中廣・代表世話人)が平成24年3月25日、結成されました。

「よつばの会」の会合は年4回程の開催を予定し、幡多地域に居住されている方に限らず、また、治療を受けている医療機関を問わず、どなたでも気軽に参加できる会を目指しています。

私達は、「よつばの会」の立ち上げに関与し、これからもこの会の活動を側面から支えていく予定です。

今後の予定など詳しくは当院ホームページや院内の掲示板をご覧ください。



がんサロン “ふたば”

がんの患者さん、家族の方が気楽に集まって話し合えるサロンを平成26年4月より開くことになりました。こじんまりとした部屋で、また、少人数のことでもあって、和やかな雰囲気の中で、病気のことでだけでなく、日常のことも含めて、日頃からの色々な思いを本音で語っていたける場になっていると思います。

また、初めての患者さんが参加される際には、常連の皆さんが親身になって話を傾け、これからの療養に安心して臨めるいい機会ともなっています。

年8回第4木曜日15:00～17:00、幡多けんみん病院3階第3会議室で行っています。気楽に顔を覗かせてみませんか。





- ①名前
- ②出身地
- ③大学での部活
- ④幡多の良い所
- ⑤他己紹介



- ①谷川 和也
- ②北海道出身
- ③筋トレ部
- ④飯がうまい。海がきれい。
言葉が可愛らしい。
- ⑤みんなが憧れる優男！
by根本

- ①露口 恵理
- ②大阪府出身
- ③ダンス部
- ④人と人とのつながりが深い
- ⑤明るい笑顔でみんなのムード
メーカー by富士田

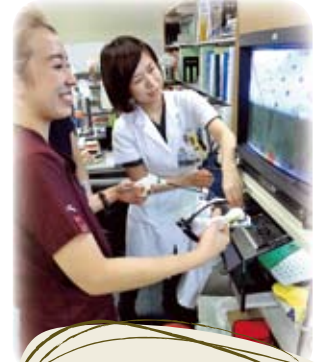
- ①根本 玲
- ②岡山県出身
- ③バレー部・ダイビング部
- ④スタッフも患者さんも優しい
- ⑤スポーツ万能！ by畠中



- ①畠中 茉莉子
- ②高知県出身
- ③バドミントン部
- ④ご飯が美味しい
幡多弁は可愛い
- ⑤女子力が高くて素敵
by露口



- ①舩谷 友里恵
- ②高知県出身
- ③テニス・軽音部
- ④病院内も外もみんな
あったかい
- ⑤癒し系です
声に癒やされます
by畠中



- ①富士田 崇子
 - ②広島県出身
 - ③ダイビング部
 - ④海がきれい
 - ⑤地中海性気候的な人当たり。とっても頑張り屋さん。
- by谷川

幡多けんみん病院 研修医です

- ①柳川 祐輝
 - ②高知県出身
 - ③水泳部
 - ④人は支えあって生きていく事を実感できます！
 - ⑤妥協を許さない真面目さ！
- by出口



- ①福島 大
- ②高知県出身
- ③テニス部

私達はこの幡多けんみん病院で、熱くて優しい先生方、様々なことを丁寧に教えて下さるコミディカルの方々、手厚いサポートをして下さる事務員の方々、そして何より患者様に支えられて、毎日楽しく充実した研修をさせて頂いています。

一日一日を大切に、向上心、初心と感謝の気持ちをお忘れずに、一步一步成長していきたいと思っています。

大変未熟者ではありますが、精一杯頑張りますのでどうぞ宜しくお願いします。

- ①出口 奨
 - ②大阪府出身
 - ③バスケット部
 - ④日々幡多の人の優しさに助けられています。
 - ⑤目標に向かって進む姿勢に憧れます！
- by柳川

幡多地域の健康寿命

高知県立幡多けんみん病院では、幡多ふれあい医療公開講座を定期的に開催しています。今回は、「健康寿命を延ばすために」というタイトルで、宿毛市立宿毛文教センターで開催しました。私が「ロコモ予防で元気な街に」というタイトルの講演を行い、大井田病院の岸倫弘理学療法士が「今から始める介護予防」というタイトルで、簡単にできる運動について紹介してくださいました。多くの市民の方に参加いただきました。その中で、私がお話したことを紹介します。

みなさんは文教センターに行かれたことがありますか？ 私自身、宿毛市民となつて五年目ですが、数回訪れたことがあります。センターの三階には、宿毛市立宿毛歴史館があつて、この土地の歴史や著名人の詳しい紹介があります。宿毛の歴史と文化について勉強したことを、今回の医療公開講座でも紹介しました。

宿毛には、宿毛貝塚など五千年前から人々が暮らしていた痕跡があり、千五百年前の高岡山古墳など、古くから人の文化が繁栄していたようです。もともと「波多国」と呼ばれ、「土佐国」より歴史が古いのです。幕末には、領主が積極的だった新進の教育の影響もあり、明治から昭和にかけて多くの人材を輩出しています。歴史館では、「宿毛の二十一人」として紹介されていますが、この土地の人口を考えると、とんでもなく多い数だ

と思います。その二十一人の中で、私が医療講座で紹介したのは小野梓（あずさ）先生です。

小野梓は、江戸末期に宿毛市に生まれました。三十四歳で夭折（ようせつ）してしまいました。その短い人生の中で、武士として鳥羽・伏見の戦いに参加し、海外留学し、大隈重信と立憲改進黨を設立、早稲田大学の前身である東京専門学

校を設立し、自ら多くの講義に熱弁をふるい、早稲田大学設立の母と称されています。東宿毛駅が、別名「早稲田・梓駅」と呼称されていることをご存知でしょうか。また、先生が書いた「国憲汎論」は、後の憲法作成の基本的なアイデアとして大いに参考にされました。教育の重要性を自ら実践し、東洋書房という書店を経営し良書の普及に努めました。わずか三十四年の生涯でも、実に大きな仕事を成し遂げています。

当時の平均余命は四十五歳くらいであつたそうですから、現在の私たちは小野先生の時代と比べて三十年以上長く

生きられる時代となつたわけです。一万円札のモデルである福沢諭吉は江戸時代と明治時代をそれぞれ三十三年ずつ生きた生涯を、「あたかも一身にして二生を経るがごとし」と充実した人生を二回生きたと述懐しています。現代に生きる私たちは、福沢諭吉と同じく年数的にも、昔の人の二回分の人生を楽しむことができるわけですね。その長い人生の健康寿命を延ばすために必要なことは何でしょうか。

その大きなヒントを黒潮町出身の上林暁（かんばやし あかつき）先生の生涯からいただきたいたいと思うのです。上林



小野梓像



早稲田・梓駅

暁は、明治三十五年に大方町に生まれ、東京大学を卒業後多くの私小説を残しています。「薔薇盗人」「白い屋形船」「病妻物語」「聖ヨハネ病院にて」「四万十川幻想」など、当時の幡多の風景や生活を丁寧に描写しています。小説家はたくさんいますが、彼が尊敬を集める理由は、彼の生きざまにあると思います。実は、彼は六十歳で脳溢血(いっけつ)により右半身不随になりました。文字を書く作家にとって、右手が使えないことは、ある意味では致命的ともいえます。しかし、彼は七十七歳で亡くなるまでの十七年間、妹への口述筆記と固定した原稿用紙へ左手で書くという方法で創作活動を続けました。黒潮町にあるあかつき記念館の入り口の看板には、「書くために生きる」とのタイトルがあり、目標を持って生きることの大切さが強調されています。長生きしているから物語を書くのではなく、書くために生きるのです。

この「〇〇するために生きる」ことが、今の長寿社会でも求められていると思うのです。

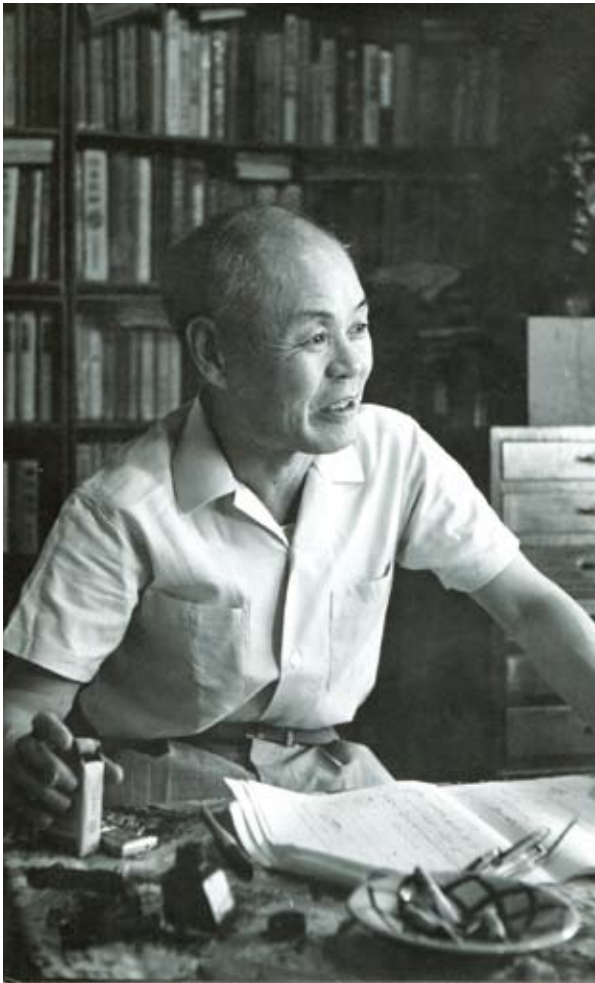
小説家は小説を書くために、困難な身体であっても力強く生きぬくことができるかもしれません。一方、私たちはどうでしょうか。目標は身近なことではないと思うのです。外来で多くの患者さんとお話をする中で、多くは病状や辛い経験の話が多いのですが、時々こちらが励まされることもあります。七十年代後半の男性が五年後の東京オリンピックに行くにきたい、七十年代後半の女性が孫の花嫁姿を見るまでは元気で歩きたい、九十歳代の

〇〇するために生きる というヒント。

女性が畑の手入れをしたいと話するなど、元気な方ほど身近な目標を持っていることが分かります。上林暁先生の「〇〇するために生きる」姿勢に、長寿社会を健康で生きるヒントがあると感じています。

足腰が弱った状態をロコモと呼んで予防して、できるだけ長い期間を自分の足で自立して生活できるようにしたい。そのためには、長生きするために足腰を鍛えるのではなく、具体的な将来の目的のために足腰を鍛えるのがよいのではないだろうか。

小野梓先生は十一年かけて国憲汎論を書き終えた日記の中で、『不便』があ



上林暁



整形外科
医師 北岡 謙一
整形外科部長
リハビリテーション科医長
専門医
日本整形外科専門医
日本整形外科学会
脊椎脊髄病医
日体協スポーツクター

ればこれ避け、避けられなければ暫く止めて、『便』が来るのを待って再び始め、ついにその初志を貫いた。『速成』を期せずに耐えて成就するだけである。力の及ぶ範囲で絶えることなく継続することが『大成』する道である。私の子孫はこの志を継いで欲しい。」と書いています。高知県の端にあって過疎化が進む幡多地域において、健康に生きることは簡単ではないかもしれませんが、小野先生の子孫に期待する言葉を受け止めて、難しい長寿社会を、できることを少しずつ継続しながら生きていきたいものです。

幡多けんみん病院が、幡多の方々の健康寿命を少しでも延ばすお手伝いできれば幸せです。

満点 満点 レシビ

delicious &
healthy

栄養科
管理栄養士
井上 那奈



- 姿も味も良い鯛は、その名前からお祝いごとには欠かせない魚として重用されてきました。鯛のうま味は、グルタミン酸をはじめとするアミノ酸のバランスの良さやイノシン酸が蓄積しやすい肉質によります。「くさってもタイ」という言葉は、鯛の肉質がイノシン酸を分解しにくく、鮮度が低下しても味が落ちないためと言われています。

taimeshi

宿毛の郷土料理 「たいめし」

米 3合
だし昆布 少々
濃口しょうゆ 大さじ1
酒 小さじ1
鯛 100g
鯛のアラ 少々
あぶらあげ 小2枚
ごぼう 50g
生しいたけ 25g
さとう 大さじ2
水 大さじ2
薄口しょうゆ 大さじ1
酒 大さじ1
塩 少々

- ①米に調味料とだし昆布を加えて炊きます。
- ②Aの材料を煮て、ごはん混ぜる具をつくります。あぶらあげ、ごぼう、しいたけは食べやすい大きさに切ります。鯛のアラは、炊きあがってから骨を除きます。
- ③煮上がったら、鯛の身をほぐします。
- ④炊きあがったごはんを混ぜてできあがりです。煮汁はご飯のかたさや、味の調整で好みにあわせて加えましょう。



中田
OTの



HATA再発見

vol.1



『若い衆、今も昔も…』

幡多けんみん病院から車で北西に10分。幕末から明治にかけて建築された泊り屋が芳奈部落には残存しています。なかでも最も風格のあるこの浜田の泊り屋は、昭和32年に国の重要民俗資料に指定され、今では宿毛屈指の観光名所となっています。2間4方の木造高床式の平屋建てで屋根は入母屋造りの浅瓦ぶき、柱は栗の自然木を用いどっしりと風格のあるこの建物、梯子を上げると高床の室内には誰も入れない構造になっており、そんな密室で当時の若い衆は夜な夜な何をしていたのでしょうか？

当時、百数十か所も設置されていたこれらの泊り屋も明治末期には風紀を乱すとの事で次々と壊され、現在は四カ所残るのみとなりました。当時の若い衆も今と同じという事でしょうか。



リハビリテーション室
作業療法士 中田 浩



編集後記 ～「はた家」創刊によせて～

高知県立幡多けんみん病院のことをもっと知ってもらいたいとの願いから、新しい病院広報誌「はた家」が創刊されました。この「はた家」の名前は、病院名である幡多けんみん病院の名前の一部から由来しています。日本中にたくさんある病院の中で、ひらがなを冠した公立病院は少ないと思います。実際、患者さんが、「今、けんみんにおるけん。」と「けんみん」の愛称で呼んでくださることを嬉しく感じています。実は、「はた家」の名前にはもっと多くの気持ちがこめられています。

まず、幡多の多くの方が健康になってほしいとの願いがあります。また、「畑」みたいな病院でありたいとの思いもこめています。病院は、ともすれば冷たい、辛い場所となることが多いと思います。畑では、人の手によって作物が育てられ、時に命が芽生え、枯れたりもしていく場所です。患者さんが、病気やけがをした時に、多くの職員の手でその患者さんの気持ちを支えて、ともに育つことができるような場所を目指していきたいと考えています。幡多地域の大自然に癒されるように、温かい人の手によって整備された「畑」のような病院で、多くの困難に対して取り組みたいと思うのです。

最後に「はた家」には家族の意味もあります。できれば、病院に長くいることは避けたいところですが、もし、皆さんに「けんみん」が必要となった時には、家族の一員として、一緒にけんみん病院の医療の向上に協力して守り育てていただきたいと思います。

「はた家」を通して、もっと、けんみん病院のことを知ってもらいたい、好きになってもらいたい、一緒に病院を守ってもらいたい。ぜひ、「はた家」の家族として、この地域で元気に暮らしてください。けんみん病院が少しでもお手伝いできることを願っています。

外来診療一覽表

初診午前中受付 8:30~(受付箱7:30設置)

受付 ☎(0880)66-2222

H28.4.1

診療科			月	火	水	木	金	土
A 外来	外科	午前	1診 秋森 (予約・紹介のみ)	上岡 (予約・紹介のみ)	秋森	上岡 (予約のみ)	上岡	
			2診~12:00 金川 (予約・紹介のみ)		沖		金川	
			3診		尾崎			
		午後						
	整形外科	午前	8診 北岡	手術日	手術日	北岡	手術日	
			9診 小松			團		
			10診 寺西			和田		
		午後						
	脳神経外科	午前		西村	野島	西村	野島	細田
		午後						
	皮膚科	午前		寺石	予約・紹介のみ		寺石	予約・紹介のみ
		午後		手術	手術	寺石		手術
B 外来	内科	午前	予約外 川村	舩谷	岡村	稲田	大窪	
			予約 岡村	稲田/大窪	川村/舩谷	岡村	稲田/川村	
		午後	予約 岡村	稲田	川村	岡村		
	循環器科	午前	1診 矢部	矢部	矢部 (予約のみ)	矢部	矢部	矢部
			2診 高橋					寺内
		午後	1診					
	消化器科	午前	初診・予約外 石川	検査日 (予約のみ)	常風 沖	予約のみ	高田/上田	
			予約のみ 宮本/上田			上田/宮本/澤田(晴)	森澤/上田	
		午後	予約のみ			宮本/澤田(晴)	森澤	
	放射線科	午前	随時				坪井	
		午後	随時					
	泌尿器科	午前	1診 島本	澤田	澤田	島本	島本	
		2診 波越			波越	波越		
午後								
C 外来	産婦人科	午前	産科 濱田	中野	氏原	濱田	中野	
			婦人科 中野	氏原	濱田	中野	濱田	
		午後	予約のみ 濱田			濱田		
眼科	午前	1診			高知大医師		高知大医師	
	午後						高知大医師	
D 外来	小児科	午前	1診 白石	白石	遠藤	白石	白石	
			2診 前田	前田	森下	前田	前田	
			3診 森下	澤井	丸金	森下	浦木	
		午後	1診(予約) 前田	白石(循環器)		白石	午前/午後 石原(腎)(月1回) 臼井(神)(月1回)	要問合せ
			2診(予約) 森下	丸金		前田		
			3診(予約) 遠藤				澤井	
			山本(循)(第3) 要問合せ			大島(小児外科) (月1回)	要問合せ	
	耳鼻咽喉科	午前		青井 (第1・3横島)	手術	青井	手術	青井
		午後		予約のみ	手術	予約のみ	手術	予約のみ
	麻酔科 緩和ケア	午前		橘			橘	
		午後						

※担当医師は、手術や出張により変更になる場合があります。 ※初診及び予約以外の方の受付時間は午前11時30分までとなっています。
 ※整形外科・皮膚科・内科・消化器科の受付は午前11時までとなっています。 ※泌尿器科・耳鼻科の受付は午前10時30分までとなっています。
 ※眼科は完全予約制です。予約は予約変更係(0880-66-2222)へお電話ください。

はた家
Vol.1

発行元 高知県立幡多けんみん病院
〒788-0785 高知県宿毛市山奈町芳奈3番地1

TEL: (0880)66-2222(代表) FAX: (0880)66-2111

発行月 平成28年4月
制作 C.C.委員会